

平成15年3月期 第1四半期業績概況

平成14年7月25日

上場会社名 株式会社 な と り
(URL <http://www.natori.co.jp/>)
問合せ先 経理部長 小林 眞

(コード番号: 2922 東証第二部)

(TEL: (03) - 5390 - 8111)

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

- 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表規則)
- ・ 会計処理方法の変更の有無 : 無
 - ・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 有
- (法人税等の計上基準) 法定実効税率をベースとした計算をおこなっております。
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
- 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成15年3月期第1四半期の業績概況 (平成14年4月1日 ~ 平成14年6月30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年3月期第1四半期	7,609	(4.5)	601	(5.1)	601	(5.5)	345	(5.6)
14年3月期第1四半期	7,279	(1.9)	572	(12.3)	569	(9.6)	365	(10.5)
(参考) 14年3月期	30,158		1,604		1,592		978	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
15年3月期第1四半期	25	50	-	-
14年3月期第1四半期	49	02	-	-
(参考) 14年3月期	75	39	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

春先には、経済指標の一部に回復の兆しが見られましたが消費者物価は1999年から3年連続で下落、本年に入っても下げ止まりの傾向はみられません。デフレの進行は販売価格の下落や人件費負担の増大等企業経営に大きな影響を与えております。

当四半期の加工食品業界や小売業界では、昨年発生しましたBSE(狂牛病)問題に端を發した企業不祥事の余波に続いて、食品の安全性の観点から指定外食品添加物を使用した食品、基準値を超える農薬残留食品問題が発生し、商品の回収と再発を防止するための確認作業等お客様の信頼を回復するための諸施策が実施されました。

このような状況のもと、なとりグループは、新3カ年中期経営計画(3-5プランVER2)を推進させ安全性の再確認をおこなうと共に新商品として梅製品(新ねり梅・焼き梅カレンダー・梅スッキリ甘い)、カップおつまみ(帆立貝柱燻製・干し貝柱・小魚)の販売開始、大手小売業との共同開発を進める一方、チーズ鱈発売20周年の感謝を込めて30%増量販売を開始しました。当第1四半期はアツと言う間の桜前線北上や食品添加物問題発生による消費者の菓子離れ、信用不安による問屋・小売店の不振等厳しい販売環境にありましたが引き続き販売体制及び生産・品質管理体制の強化を図るとともに研究開発の拠点とする食品総合ラボラトリー(R&Dセンター)の第一期建設に着工し(竣工予定平成15年3月)開発型企業としてなとりブランド力の強化を図って参る所存であります。

これらの諸施策の結果、当四半期の売上高は7億9百万円(前期比4.5%増)、損益面につきましては、畜肉・チーズ等の原料高の影響もあって売上総利益は2億19百万円(前期比0.1%減)、販売費及び一般管理費は全社のコストダウン展開の成果もあり2億17百万円(前期比1.6%減)となり、その結果営業利益は、6億1百万円(前期比5.1%増)、経常利益は6億1百万円(前期比5.5%増)となりました。四半期純利益は、前期、子会社メイホク食品(株)の第四期工場増築に伴う企業立地助成金82百万円の特別利益がありましたので前期比20百万円(5.6%)減益の3億45百万円となりました。

なお、市場の混乱するなかにあって連結子会社10社は当四半期いずれも純利益を計上いたしました。

製品群別売上高の状況は、水産加工品4億33百万円(前期比3.3%増)、畜肉加工品9

億16百万円(前期比8.5%減)、酪農加工品6億78百万円(前期比12.2%増)、農産加工品10億65百万円(前期比18.2%増)、惣菜品ほか6億4百万円(前期比6.9%増)となりました。BSE(狂牛病)の余波を脱し切れぬ畜肉加工品のみ減収となりましたが、梅製品を中心に農産加工品やチーズ類を中心とする酪農加工品は二桁台の増収となりました。また、惣菜加工品では、洋風惣菜を扱う子会社(株)なとりデリカ、中華惣菜を扱う(株)好好飲茶の増収が貢献しております。

なお、1株当たり四半期純利益は25円50銭(前期49円2銭)となりましたが、この間昨年5月の株式分割1:2、上場時におこないました公募100万株ならびに本年2月におこないました株式分割1:1.2による株数増加の結果であります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期第1四半期	25,524	10,650	41.7	786 79
14年3月期第1四半期	24,332	8,805	36.2	856 51
(参考)14年3月期	24,165	10,391	43.0	767 65

総資産が前年同期比11億92百万円増加しました要因は、この間公募増資による直接調達10億23百万円、旧豊島工場跡地(東京都北区)売却収入13億13百万円ならびに連結剰余金8億22百万円をもって借入金17億31百万円の返済、ならびに当社子会社が賃借しております事務所ビルおよび駐車場(東京都北区)を10億84百万円で取得及び「いか」を中心とする季節的要因によります原材料等在庫4億69百万円の増加によるものであります。

株主資本の増加18億44百万円は既述のとおりであり、この結果株主資本比率は5.5%増加の41.7%となりました。また、1株当たり株主資本が69円72銭減少しましたが、上場時の公募増資100万株ならびに本年2月におこないました株式分割1:1.2による発行済株式数の増加によるものであります。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第1四半期	584	1,512	691	109
14年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)14年3月期	1,348	854	1,523	1,514

(注) 第1四半期における「連結キャッシュ・フロー」は、当第1四半期が作成初年度であります。

連結キャッシュ・フロー計算書は、第1四半期ベースでは当第1四半期より作成を開始しているため前年同期との比較をおこなっておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期の税引前純利益5億94百万円、減価償却費1億73百万円双方で7億67百万円となりましたが、当期は主要原材料であります「いか」の海外委託加工仕入等により季節的な在庫として5億9百万円増加したこと、未払消費税等1億49百万円減少ならびに法人税等の支払4億74百万円等により5億84百万円の資金を使用しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

既述の事務所ビル、駐車場の取得ほか賃借していましたが社員寮の取得等有形固定資産の取得14億37百万円の結果15億12百万円の資金を使用しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

在庫資金ほか8億93百万円の短期借入調達をおこない、長期借入金1億32百万円の約定返済の結果、6億91百万円となりました。

当四半期は営業活動、投資活動共活発な資金需要状況にあり、期首の15億14百万円の現金及び現金同等物は1億9百万円となりました。

(参考1)四半期個別経営成績等の概況(平成14年4月1日～平成14年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第1四半期	7,072	467	491	280

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
15年3月期第1四半期	21,396	9,850

3.平成15年3月期の連結業績予想(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	15,800	850	400	29 55
通期	32,500	1,850	880	65 01

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

当第1四半期を終えた時点での見通しは、売上高については畜肉製品が伸び悩んでおりますが水産・酪農・農産・惣菜とも増収傾向にあり新商品の投入並びに拡販努力により達成する見込みであります。殊に農産加工品(ねり梅・焼き梅・枝豆・焼きとうもろこし等)に注力しており、また、子会社(株)なとりデリカの洋風惣菜、(株)全珍の揚げ物製品が堅調に推移する見込みであります。損益面につきましては、新商品の投入と製造原価圧縮により通期売上総利益率を0.4%アップの34.7%を計画(当四半期実績は34.4%)ならびに販売費及び一般管理費比率の0.2%削減の28.8%を計画(当四半期実績は26.5%)しており、営業利益19億27百万円(前期比20.1%増)、経常利益18億50百万円(前期比16.2%増)、退職給付会計基準移行時差異の最終年度償却61百万円を特別損失処理の結果、当期純利益は8億80百万円(前期比10.1%減)の見通しであります。

(参考2)平成15年3月期の個別業績予想(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株あたり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	14,800	750	350	5 00	-	-
通期	30,300	1,673	775	-	5 00	10 00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

〔添付資料〕

・ 四半期連結(要約)損益計算書

(単位：千円、端数切捨て)

期 別 科 目	当第1四半期累計 〔平成14年4月1日から 平成14年6月30日まで〕		前第1四半期累計 〔平成13年4月1日から 平成13年6月30日まで〕		前連結会計年度 〔平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売上高	7,609,608	100.0	7,279,677	100.0	30,158,160	100.0
売上原価	4,989,689	65.6	4,655,852	64.0	19,806,225	65.7
売上総利益	2,619,919	34.4	2,623,824	36.0	10,351,934	34.3
販売費及び一般管理費	2,017,975	26.5	2,050,891	28.1	8,747,871	29.0
営業利益	601,944	7.9	572,933	7.9	1,604,063	5.3
営業外収益	28,210		32,297		148,406	
営業外費用	29,057		35,359		160,262	
経常利益	601,097	7.9	569,871	7.8	1,592,206	5.3
特別利益	10,952		82,826		1,178,254	
特別損失	17,803		16,780		893,338	
税引前四半期(当期)純利益	594,245	7.8	635,916	8.7	1,877,121	6.2
調整後法人税等	244,480		269,208		889,365	
少数株主利益	4,542		1,172		9,077	
四半期(当期)純利益	345,222	4.5	365,535	5.0	978,678	3.2

・ 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：千円、端数切捨て)

期 別 科 目	当 第 1 四 半 期 末 (平成14年6月30日現在)		前 第 1 四 半 期 末 (平成13年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
1. 現金及び預金	1,281,727		1,222,590		2,179,641	
2. 受取手形及び売掛金	5,110,466		5,263,147		5,010,948	
3. たな卸資産	5,119,239		4,804,551		4,587,370	
4. その他	305,406		409,516		298,600	
流動資産合計	11,816,840	46.3	11,699,805	48.1	12,076,561	50.0
固定資産						
1. 有形固定資産	12,372,698		11,371,164		10,788,876	
2. 無形固定資産	107,698		76,470		69,957	
3. 投資その他の資産	1,227,382		1,184,760		1,230,543	
固定資産合計	13,707,779	53.7	12,632,396	51.9	12,089,377	50.0
資産合計	25,524,620	100.0	24,332,201	100.0	24,165,939	100.0
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	3,857,652		3,568,309		3,588,141	
2. 短期借入金	4,267,540		5,583,000		2,852,000	
3. 一年以内に返済予定の 長期借入金	564,867		1,519,117		555,417	
4. 未払法人税等	244,480		269,587		474,373	
5. 設備支払手形	326,714		122,766		13,821	
6. その他	1,231,718		1,327,287		1,781,546	
流動負債合計	10,492,974	41.1	12,390,068	50.9	9,265,300	38.3
固定負債						
1. 社 債	100,000		-		100,000	
2. 長期借入金	2,898,749		2,460,039		3,040,399	
3. その他	1,210,965		516,562		1,201,018	
固定負債合計	4,209,714	16.5	2,976,601	12.2	4,341,417	18.0
負債合計	14,702,688	57.6	15,366,670	63.1	13,606,717	56.3
(少数株主持分)						
少数株主持分	171,366	0.7	159,664	0.7	167,569	0.7
(資本の部)						
資本金	1,225,125	4.8	713,125	2.9	1,225,125	5.0
資本準備金	1,540,923	6.0	1,029,923	4.2	1,540,923	6.4
連結剰余金	7,885,002	30.9	7,062,981	29.1	7,631,000	31.6
その他有価証券評価差額金	-	-	-	-	4,980	0.0
自己株式	485	0.0	163	0.0	416	0.0
資本合計	10,650,565	41.7	8,805,866	36.2	10,391,651	43.0
負債、少数株主持分及び資本合計	25,524,620	100.0	24,332,201	100.0	24,165,939	100.0

・ 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円、端数切捨て)

科 目	期 別	当第1四半期 〔平成14年4月1日から 平成14年6月30日まで〕	前連結会計年度 〔平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで〕
		金 額	金 額
. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		594,245	1,877,121
2. 減価償却費		173,384	782,391
3. 受取利息及び受取配当金		487	3,956
4. 支払利息		22,584	110,363
5. 売上債権の増加額		99,518	134,278
6. たな卸資産の増加額		509,452	-
7. たな卸資産の減少額		-	441,891
8. 仕入債務の増加額		232,620	-
9. 仕入債務の減少額		-	259,698
10. 未払消費税等の増加額		-	234,418
11. 未払消費税等の減少額		149,054	-
12. 役員賞与の支払額		10,000	10,000
13. その他		342,164	528,101
小 計		87,843	2,510,153
14. 利息及び配当金の受取額		541	4,200
15. 利息の支払額		22,826	104,713
16. 法人税等の支払額		474,794	1,061,208
営業活動によるキャッシュ・フロー		584,923	1,348,431
. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出		1,437,496	580,836
2. 有形固定資産の売却による収入		-	1,313,986
3. 投資有価証券の取得による支出		7,047	26,767
4. 投資有価証券の売却による収入		-	4,381
5. その他		67,675	143,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,512,220	854,142
. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増加額		893,000	-
2. 短期借入金の減少額		-	2,030,774
3. 長期借入金の減少額		132,200	508,910
4. 社債の発行による収入		-	98,604
5. 株式の発行による収入		-	1,001,798
6. 自己株式の取得による支出		68	253
7. 親会社による配当金の支払額		68,297	82,951
8. 少数株主への配当金の支払額		745	745
財務活動によるキャッシュ・フロー		691,689	1,523,231
. 現金及び現金同等物の増加額		-	679,343
. 現金及び現金同等物の減少額		1,405,454	-
. 現金及び現金同等物期首残高		1,514,541	835,198
. 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高		109,087	1,514,541

(注) 第1四半期における「連結キャッシュ・フロー計算書」は、当第1四半期が作成初年度であります。

・ セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当第1四半期における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

所在地別セグメント情報

当第1四半期において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

海外売上高

当第1四半期において海外売上高はないため、該当事項はありません。

・ 販売の状況

販売実績

(単位：千円、端数切捨て)

期 別 区 分	当第1四半期 〔平成14年4月1日から 平成14年6月30日まで〕		前第1四半期 〔平成13年4月1日から 平成13年6月30日まで〕		前連結会計年度 〔平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで〕
	金 額	前年同 四半期比	金 額	前年同 四半期比	金 額
水産加工製品	4,343,512	3.3	4,204,750	4.3	17,251,400
畜肉加工製品	916,952	8.5	1,002,312	21.9	3,849,349
酪農加工製品	678,886	12.2	605,182	8.2	2,724,520
農産加工製品	1,065,548	18.2	901,551	19.4	3,790,196
惣菜製品 他	604,708	6.9	565,880	7.3	2,542,693
合 計	7,609,608	4.5	7,279,677	1.9	30,158,160

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

・ その他

該当事項はありません。